

堺と茶の湯の関わり

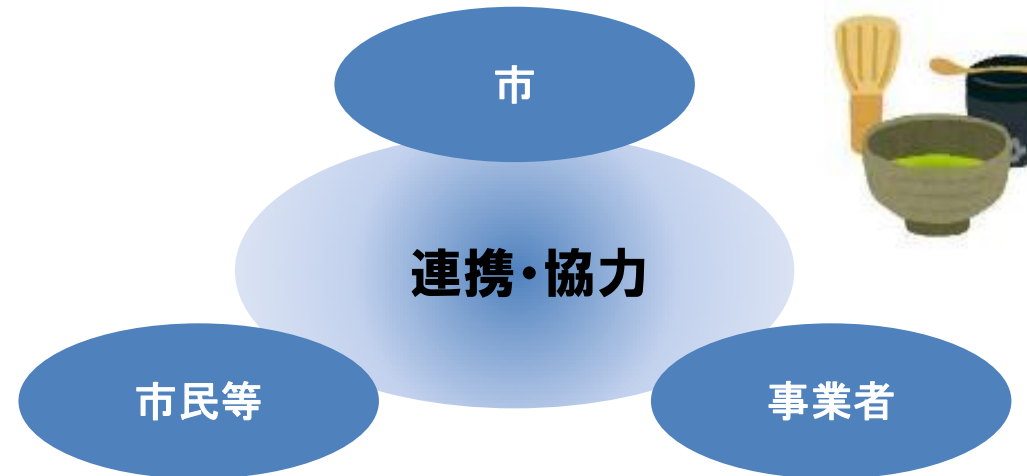
- ◆中世：世界に開かれた貿易都市、町衆が治める自由・自治都市として繁栄
  - ・進取の気風の中で多くの優れた茶人が生まれた
  - ・豪商など一部の者に限らず、広く茶の湯を楽しむ文化が根付いていた

- ◆現代：茶の湯を楽しむ文化が受け継がれている
  - ・さかい利晶の杜での三千家による茶の湯体験
  - ・「利休のふるさと堺大茶会」の開催
  - ・市庁舎での茶の湯によるおもてなし
  - ・堺スタンダードとして学校教育での茶の湯体験 など

茶の湯の文化が息づくまちをめざす

茶の湯の文化とは  
 茶の湯において重んじられている、互いを敬い、思いやりの心を持ち、ふれあいの時間及び空間を大切にすること

主体



めざす姿

- ・誰もが気軽に茶の湯を楽しめるまち
- ・次代を担う子どもたちが思いやりの心を持てるまち
- ・観光客がどこでも茶の湯を楽しめるまち
- ・茶の湯に関連する伝統産業が振興されるまち



市が取り組んでいくこと

文化振興

教育振興  
(学校・家庭)

観光振興

産業振興

市民の豊かな心の醸成・都市魅力の向上

